

メタンガス対策について

夢洲の万博会場に発生するメタンガスについて、9月理事会で承認された対応方針を踏まえて、会期中の安全確保に向けて以下の対策を講じている。

1. ガス濃度把握と安全確認の徹底

会場内全域でのガス安全管理について、専門家の指導の下、ガス濃度の測定方法・安全確認の体制を構築し、安心してご来場いただける環境を確保する。（協会による継続的なガス濃度測定、各施設管理者・事業実施者によるガス濃度測定・安全確認）

2. ハード面の安全対策

GW工区では、（1）全ての施設（開放施設を除く）における機械換気設備・検知器の設置、侵入抑制措置、（2）マンホール穴開け、（3）透水性舗装のすべての工事を実施。（開幕までに完了）。PW工区では、ガス濃度測定の結果を踏まえて、マンホール穴開け、地下鉄工事上部付近のガス既検知施設での侵入抑制措置のすべての工事を実施（開幕までに完了）。

なお、継続的にモニタリングを実施し、その結果を踏まえて、必要な追加対策を実施していく。

3. 会場内の連絡・連携体制の確立および研修

各施設管理者・事業実施者と協会との間で、会場内の連絡・連携体制を確立するとともに、現場で対応にあたる各施設運営スタッフ等への研修を徹底する。

1. ガス濃度把握と安全確認の徹底

- 会場内全域でのガス安全管理について、専門家の指導の下、**ガス濃度の測定方法・安全確認の体制を構築し、安心してご来場いただける環境を確保する。**
- 協会は、会期中、**会場内全域でのガス濃度測定を継続的に実施する**とともに、各施設管理者・事業実施者に協力を頂き、**各施設等での換気実施・安全確認を徹底する。**
- 安全確認の状況については、**常時公表**していく。

● 各施設管理者・事業実施者が行う日常の対応

- ①換気 ……24時間（常時）換気（換気設備がなければ毎朝、窓を開放）
- ②ガス測定 ……ハンディ検知器を協会より各施設等へ貸与
室内等で、各施設管理者および事業実施者が測定
- ③記録・連絡……測定結果を記録簿に記入
検知した濃度に応じて、各施設から協会へ連絡

※ガス検知状況に応じたエリアごとの対応を要請

● GWエリアで別途措置すべき対応

- ①火気使用 ……禁煙を徹底し、火気使用を原則禁止
電源確保等でやむを得ず火気を使用する場合、
有識者へ構造等の事前確認及び運用等の助言を受ける
- ②工作物の設置……倉庫、物置などの工作物は高床式とし、送風機などを用いて換気を行う

● 協会の対応

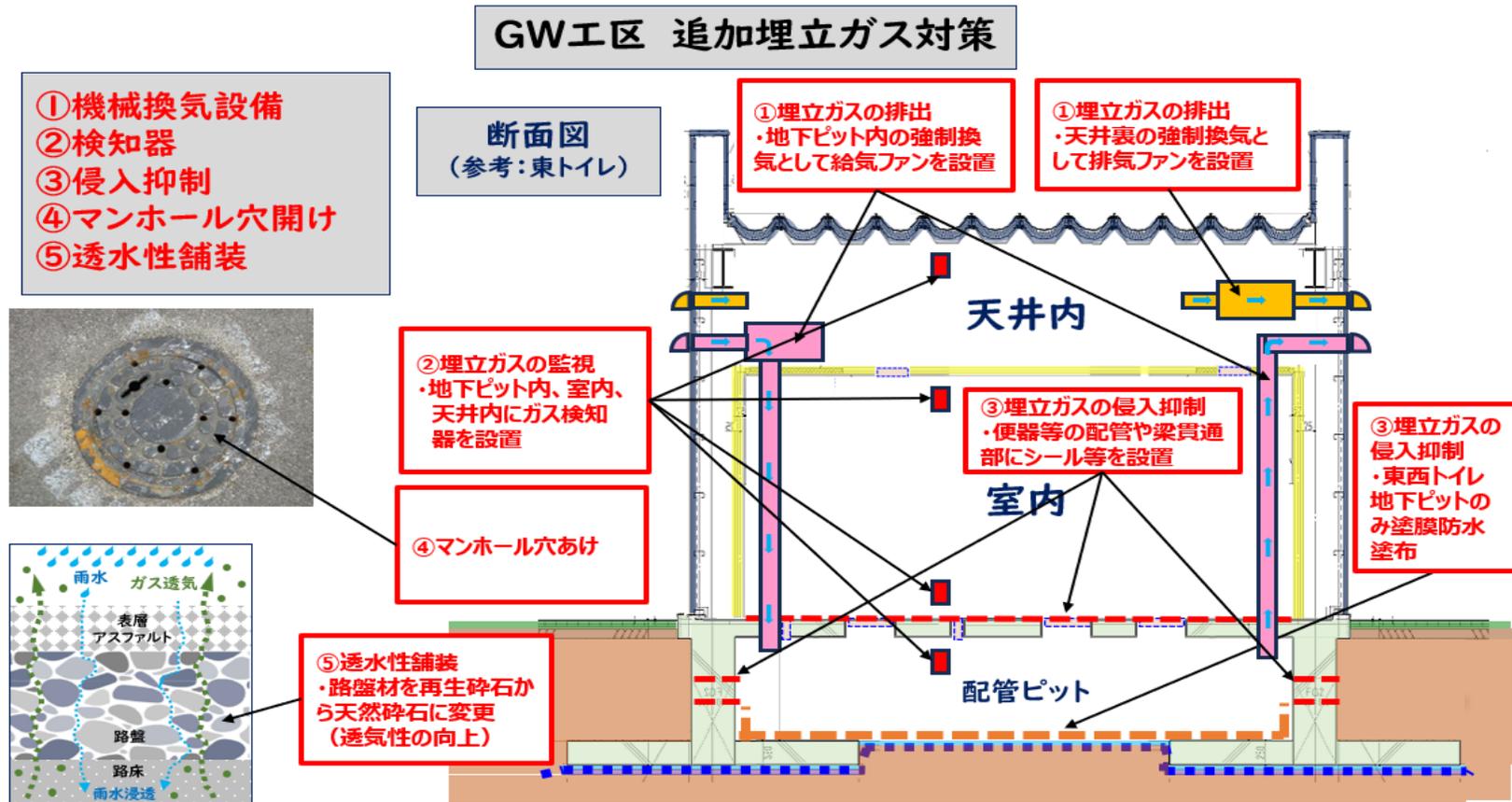
会場内全域でのガス安全管理について、専門家の指導の下、ガス濃度の測定方法・安全確認の体制を構築し、安心してご来場いただける環境を確保する。



ハンディ検知器イメージ

2.ハード面の安全対策

- GW工区では、2024年6月24日に公表した「会期中の安全対策」に基づき進めてきた、
(1) 全ての施設（開放施設を除く）における機械換気設備・検知器の設置、侵入抑制措置
(2) マンホール穴開け、 (3) 透水性舗装のすべての工事を実施。（開幕までに完了）
- PW工区では、ガス濃度測定の結果を踏まえて、マンホール穴開け、地下鉄工事上部付近のガス既検知施設での侵入抑制措置のすべての工事を実施。（開幕までに完了）
- ガス抜き管に対し、高上げや先端部への金網設置等の措置を実施。（2025年2月完了）



3.会場内の連絡・連携体制の確立および研修

①会場内の連絡・連携体制の確立

各施設管理者・事業実施者と協会との間で、ガス濃度測定や換気等の状況について、常時密接に連絡を取り合う体制を構築するとともに、ガス濃度に変化が生じた場合の連携・協力体制を構築する。

(協会内体制の整備、業者への説明会開始等)

②各施設の運営スタッフ等に対する研修の徹底

ガス測定、記録の方法や、ガス測定濃度に変化が生じた場合など、各施設管理者・事業実施者ならびに各施設の運営スタッフ等が取るべき対応について、オンライン研修会や現地での測定シミュレーションを通じて、現場の対応体制を高める為の準備を進める。